

2024年10月3日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
(東証プライム コード:8424)
代表取締役社長 織田寛明

スポーツを活用したまちづくりの推進を目指して 芙蓉総合リースが神戸ストークスとオフィシャルパートナー契約を締結

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社ストークス（兵庫県西宮市、代表取締役社長 渋谷順）が運営する B.LEAGUE プロバスケットボールチーム「神戸ストークス」とオフィシャルパートナー契約を締結したことをお知らせ致します。

芙蓉リースは、事業参画する「神戸アリーナプロジェクト」を基点にしたまちづくりの推進に向けて、GLION ARENA KOBE をホームアリーナとする「神戸ストークス」を支援する事で、スポーツを通じたまちづくりを実践してまいります。



「神戸ストークス」は、2011年に創設された地元兵庫に愛される B.LEAGUE プロバスケットボールチームです。現在は B2 に所属し、2026年から始まる B.LEAGUE PREMIER への参入を目指しております。

芙蓉リースは、神戸市において「神戸アリーナプロジェクト」に加えて、「須磨海浜水族園・海浜公園の再整備事業」「神戸市役所本庁舎 2 号館再整備事業」に事業者として参画しております。地域開発による賑わい創出・活性化に加えて、地域に根差し・愛され・シビックプライドを醸成する神戸ストークスへの支援と同チームと協働した地域貢献の取り組み等を実施する事で、更なるまちの発展に貢献してまいります。

◆芙蓉総合リース株式会社について

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指します。まちづくり分野では、「地域活性化の中核となる開発プロジェクト」等への事業参画を進めることで、豊かな社会の実現と持続的な成長に貢献してまいります。

◆株式会社ストークスについて

県鳥であるコウノトリをクラブ名の由来として、「地域に関係するすべての皆さま、こどもから高齢者まで、そして幅広く多様な人々が熱狂や感動の時間を共有し、クラブの活動を通じて地域への愛情、優しさ、プライドを感じられるような未来を創り出します」をビジョンに掲げ、バスケットボールを通じて未来を創り出す活動を推進しております。

【会社概要】

本 社：兵庫県西宮市甲子園高潮町 3-30

設 立：2016年4月

事業内容：スポーツクラブの運営、スポーツ興行、スクール事業 他

主要株主：株式会社スマートバリュー

ホームページ URL：<https://www.storks.jp/>

神戸アリーナプロジェクト（GLION ARENA KOBE を中核としたまちづくり）の概要

神戸市が推進する都心・ウォーターフロントエリア再開発事業に伴う、日本初・270度海に囲まれた水辺のアリーナ。クラウドサービスを軸に行政デジタル化やスマートシティ等を手掛ける株式会社スマートバリュー（本社：大阪府中央区、取締役兼代表執行役社長 渋谷 順）と株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 前田 義晃）が運営し、NTT都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 池田 晃）が開発を担う、3社企業コンソーシアムによる民設民営のランドマーク創出プロジェクトです。

1万人収容の次世代アリーナ「GLION ARENA KOBE」は、B.LEAGUE「神戸ストークス」の本拠地としてホームゲームが行われるほか、国内外アーティストによる音楽ライブやプロスポーツの競技大会、esports、MICEなど多様なイベントの開催を予定しています。また、アリーナ周辺パーク（TOTTEI PARK）との一体運営により、イベントのない日も日常的ににぎわいが生まれる地域活性化への貢献と、社会課題解決型アリーナの創出を目指しています。



KOBE ARENA PROJECT (YouTube 動画)
<https://www.youtube.com/watch?v=1BqpbJ1w0>



GLION ARENA KOBE 完成予想図

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 山崎・渡邊

電話番号 03 (5275) 8891 URL : <https://www.fgl.co.jp/>